



INCLUSION
FUJISAWA

社会福祉法人藤沢育成会

moderato

【モデラート：中くらいの速さで（音楽用語）】



イベントの
おしらせ

藤沢育成会

いんくるフェスティバル2024

いつかのためのいつもがある

日時：11月2日（土）
10：30～14：30

場所：秋葉台公園、よし介工芸館

キッチンカーや大道芸など
皆さんが楽しめるイベント準備中！
ぜひぜひ遊びに来てください！！

Vol.102





藤沢育成会と
つながりのある団体に
スポットを当てます

10

今回は、利用者さんの作品が商品パッケージとなって世に出ていきかけとなった
日本理化学工業株式会社と藤沢育成会とのつながりについて
おおよまたかひさ
社長の大山隆久さんにお話をうかがいました。



日本理化学工業株式会社
代表取締役社長 大山隆久さん

障がいがあってもなくても ひとりひとりの社員が活躍できる職場作り



日本理化学工業株式会社と藤沢育成会との つながりのきっかけは？

約13年前に当時の藤沢育成会理事長が見学に来られました。そこで、「キットパス」の話をした際に、藤沢育成会には、よし介工芸館という事業所でアートに力を入れた活動をしているという話を聞き、そこで「キットパス」を使っていたらいいなと気がかりです。もともと障がいのある方たちのアート（エイブル・アート）は素敵だなと魅力を感じており、よし介工芸館に「キットパス」を使っていたらいいなと気がかりです。商品パッケージのデザインとして利用者さんの作品を使えたらいいなと思っていました。私たちの役割の一つは、障がいのある方と一緒に働くということ世の中に伝えていくこと。もう一つの役割は、描くことの楽しさを伝えていくこと。パッケージを通じて、「障がいのある方のアートをもっと知ってもらいたい」という思いで商品化を進めていきました。

障がい者雇用を進めるにあたり 大事にしていることは？

働く場所の中で、健常者と障がい者を分ける必要はないと思っています。言葉で分けられることで、さまざまなサポートを受けられ、生きやすくなるという意味では「障がい者」という言葉は必要だと思いません。ただ、「障がい」という言葉を聞くだけで、その人が苦手なことやできないことばかりをみて、「できない人」と認識してしまうことがいっぱいあります。そうしたことに捉われなくなったら、もっと幸せな世の中になって、色々なことを受け入れられる社会になると思っています。また、彼らは私たちが人として大事なことを忘れてしまったり、持っていないものをたくさん持っていたりします。それらを多くの方が知れば、もっと豊かな世の中になっていくと思っています。そのために大事なことは私たちが発信者として機能していくことだと考えています。

日本理化学工業株式会社
神奈川県川崎市高津区久地 2-15-10
TEL 044-811-4121

日本理化学工業株式会社は、主に「ダストレスチョーク」や「キットパス」などの文具製品の製造販売を手掛ける会社です。従業員の約7割が知的障がいのある方々であり、障がい者の雇用にとっても力を入れている会社でもあります。2024年度に開催された【第33回日本文具大賞】では、「キットパス バイ アーティスト エクル」がサステナブル部門において優秀賞、さらには全商品の中から【グランプリを受賞】されました。今回の受賞は、職員にとっても誇らしいことです。この度は、お話を聞かせていただきありがとうございます。



藤沢育成会の活動に
賛同・協力
いただいている方を
紹介します

10

2ヶ月ごとに、星の村で紙芝居や歌あそびを提供して下さっている
やぶうちあきの せきねやすえ
「お話ボランティアひまわり」の藪内章乃さんと関根康江さんに
活動のきっかけや、どのような思いで活動されているか
お話をうかがいました。



藪内さん 関根さん



本と一緒に楽しみたいという気持ちで活動しています

活動を始めたきっかけや活動内容を教えてください

藪内さん ▶ 2005年に、江ノ電沿線新聞社主催の「お話ボランティア講座」を通して知り合ったメンバーで活動を始めました。現在は5名の会員で、星の村のほか、保育園、学童で活動しています。星の村では藤沢市図書館を通じて、おはなし会ボランティアの依頼を受けたことがきっかけで、2006年3月に活動が始まりました。
関根さん ▶ 訪問先の聞き手に合わせて、プログラムを変えています。基本的には絵本、手遊び、紙芝居のほか、素話（すばなし）という語りを行うこともあります。

星の村の活動で印象に残ったことは？



藪内さん ▶ 選んだ本の内容が難しく言葉が届かないことがありましたが、皆さん反応に嘘がなく、手厳しいです。年度が変わるとお子さんも変わるので、童話や科学絵本など好みに合わせて選ぶことが難しいと感じますが、楽しいです。

関根さん ▶ 障がいがあるお子さんということで、初めはとても緊張しました。今でも星の村のお子さんの好みを見つけることは難しいですが、好きな要素を探って選んでいます。また、紙芝居のほかに大型絵本を取入れ、手遊びも交えて、お話以外でも楽しめるように工夫をしています。

藪内さん ▶ 魚が好きな子、数が出てくると足し算をする子、特定の言葉に反応する子、色んな子がいます。みんなのびのびして、それぞれに好きな

場所、心地の良い場所でリラックスして参加しています。偶然、街中で聞き手のお子さんに会った時、私を憶えていて声をかけてくれたこともありました。

お話会を通じて伝えたいことは？

関根さん ▶ ボランティアという施しではなく、本と一緒に楽しみたいという気持ちで活動しています。お子さんの反応や喜び表情などのやりとりがとても嬉しく、励みになっています。

藪内さん ▶ 3分で読める本もあります。ご家庭でお子さんと一緒に読む時間を作ってみたいかがでしょうか。本はコミュニケーションとして、共通体験ができます。お子さんはじっとしていなくても声は耳に入っていきます。全身が耳になって聞いてくれています。



毎回趣向を凝らした内容で職員も一緒に楽しませてもらっています。次回の訪問も楽しみにしています。

→ 9月21日 湘南だいち10周年記念の秋祭りが盛大に開催されました。

当日はお天気に恵まれ、たくさんの方にご来場いただきました。ステージではカラオケ大会をしたり、パントマイムパフォーマンスや抽選会が行われ、来場者の方がいきいきと楽しむ姿が印象的でした。

西俣野下自治会の方、ボランティアの方、屋台販売の方にもご協力いただき、例年以上に地域との繋がりを感じられました。これからも地域の中で利用者さんが活躍できる場を提供できればと思います。



社会福祉法人藤沢育成会 後援会「いずみ」 2023年度 決算書

科目		2023年度決算	2024年度予算	
収入の部	前年度繰越金	518,220	705,254	
	会費	個人会員	1,010,000	1,000,000
		団体会員	65,000	65,000
	事業収入	922,300	10,000	
	寄付金	79,000	0	
	雑収入	4	1,000	
	合計	2,594,524	1,781,254	
支出の部	法人寄付	1,019,113	1,000,000	
	事務消耗品費	0	5,000	
	通信費	30,400	30,000	
	印刷費	0	0	
	会議費	0	0	
	広報活動費	0	0	
	事業活動費	329,517	10,000	
	雑費	25,240	30,000	
	業務委託費	15,000	20,000	
	積立金繰り入れ	500,000	200,000	
	予備費	0	486,254	
	小計	1,919,270	1,781,254	
	次年度繰越金	675,254	0	
	合計	2,594,524	1,781,254	

特別会計 地域生活推進積立金

科目		2023年度決算	2024年度予算
収入	前年度繰越金	6,758,062	7,258,118
	当年度繰入金	500,000	200,000
	利息	56	100
	合計	7,258,118	7,458,218
支出	法人寄付	0	0
	手数料	0	0
	小計	0	0
	次年度繰越金	7,258,118	7,458,218
合計	7,258,118	7,458,218	



カレンダーに使用する版画を、利用者さんが真心こめて制作しています。どんな出来上がりになるか、お楽しみに！（Instagramにも掲載予定です）



よし介工芸館・
アートスペースわかくさで
Instagramを開設！
様々な作品をアップしています。

2025年カレンダーについてのお問合せ

よし介工芸館 TEL 0466-88-6722

イチオン
商品です！

よし介工芸館の
2025年カレンダーを
販売いたします。

「あっと！」

日常の中で見つけたアート

表紙解説

何が見える？

これは児童発達支援センターぶれっじ(湘南だいち)の子どもたちが、手や足に(子どもによっては顔やお腹にも?)絵具をつけながらたっぷり遊んだ後の模造紙です。子どもたちは、キラキラした目をしてボディペインティングを楽しんでいました。さて、この模造紙、じっと見ていると、何か見えてきませんか？ 私には赤茶色の恐竜が見えます。他にも何か見えるかも…。あなたには何が見えますか？



アクセスお待ちしています！

藤沢育成会ホームページ
<https://www.f-ikusei.or.jp>

